

災害時外国人県民支援体制整備事業

(地域外交局多文化共生課)

1 概要

県内に大規模災害が発生した際に、要配慮者である外国人県民に対し、多言語により災害関連情報等を提供する体制を整備する。また、平時に、外国人県民を対象とした防災講座等を実施し、外国人県民の自助力、共助力の向上を目指す。

2 令和5年度事業（予算 1,179千円）

区分	内容	
災害時多言語支援センター普及	<ul style="list-style-type: none"> 災害時外国人支援活動セミナーの開催 センター設置訓練の実施 	
人材育成	支援関係者	<ul style="list-style-type: none"> 災害時外国語ボランティア育成研修（公財）静岡県国際交流協会に委託 災害時多言語支援センター訓練（3回）、資質向上研修（1回）を下半期に予定
	外国人コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> 外国人キーパーソン発掘、リスト化 企業等と連携した外国人県民対象の防災出前講座の実施（～8月） 講座実施回数：3回 講座受講者数：延べ164人 講座実施内訳：外国人の集まるイベント1回（ブラジルスポーツ大会）、その他2回（インドネシア協会、ALT） ※やさしい日本語と多言語により実施

3 令和4年度事業（予算 1,179千円）

区分	内容	
災害時多言語支援センター普及	<ul style="list-style-type: none"> 災害時外国人支援活動セミナーの開催 センター設置訓練の実施 実施日：令和5年1月17日（2023地震対策OPに合わせて実施） 	
人材育成	支援関係者	<ul style="list-style-type: none"> 災害時外国語ボランティア育成研修（公財）静岡県国際交流協会に委託 11/13（吉田町・23名）、11/27（掛川市・34名）、2/19（沼津市・18人）
	外国人コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> 外国人キーパーソン発掘、リスト化 企業等と連携した外国人県民対象の防災出前講座の実施 講座実施回数：10回 講座受講者数：延べ100人 講座実施内訳：外国人を雇用する企業4社、地域日本語教室1回、イベント2回、その他3回 ※全講座やさしい日本語と多言語により実施

4 災害活動内容等

(1) 静岡県災害時多言語支援センター設置・運営

ア 設置運営訓練（場所：県庁別館2階第3会議室B）

令和元年より、総合防災訓練・地震対策OP等に合わせ、県国際交流協会とともに翻訳・通訳支援訓練を実施している。

イ 実災害対応（令和元年台風第19号）

設置時期	令和元年10月12日（土）17時30分～20時
活動内容	① 多言語による災害関連情報の提供 <ul style="list-style-type: none"> 内容：台風第19号に関する情報を確認するウェブサイト等の紹介、静岡県防災SNS (Facebook, Twitter) の市町避難情報等 ② 相談対応：相談員が自宅待機の状態であり、アプリを通じて対応

* 県災害対策本部は危機管理部内のみの限定的な開設であり、災害時多言語支援センターの情報源となる広報班も設置されなかったことから、協議の上、活動業務を縮小して対応

(2) 災害時外国語ボランティア

平成30年度から、(公財)静岡県国際交流協会に委託し、ボランティアの新規登録、名簿管理、資質向上セミナーを開催している。

災害時外国語ボランティア登録者数 (R5. 3. 31現在) 延べ425人 (うち外国人45名)

英語	スペイン語	中国語	ポルトガル語	韓国語	フランス語	ドイツ語	ベトナム語	インドネシア語
260	36	47	13	21	8	6	3	4
カダク語	タイ語	シハラ語	イタリア語	ネパール語	ミャンマー語	その他	合計	
3	7	2	2	2	1	9	425	

(3) 外国人向け防災資料の作成

H24	地震防災ガイドブック「やさしい日本語」 監修者：清ルミ 常葉大学教授
H25	避難所における様々な場面を想定した「防災イラストカード」
H27	避難生活ガイドブック「やさしい日本語」版
H29	避難生活ガイドブック多言語版 (英、ポ、フィ)
R元	避難生活ガイドブック多言語版 (尼)
R3	避難生活ガイドブック多言語版 (ベ)